

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2009年6月調査）

2009年7月

株式会社 日通総合研究所

ホームページはこちら

<http://www.nittsu-soken.co.jp>

## 目次

I. 調査の内容	1
II. 調査の結果	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## －今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2009年4～6月の実績と2009年7～9月の見通しを6月中旬時点でうかがったものであり、1,089社からご協力をいただき、回答率は43.6%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

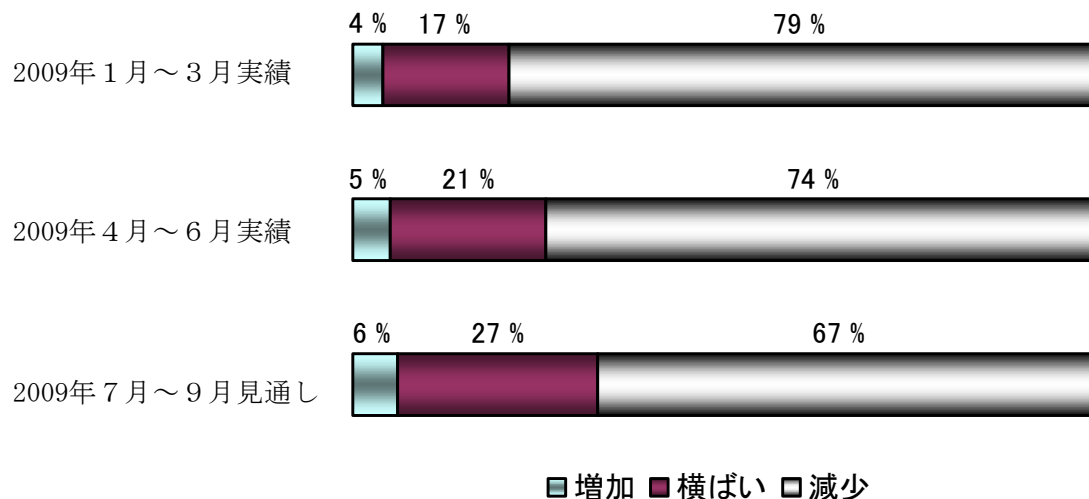
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	108	46.6
	繊 維 ・ 衣 服	111	51	45.9
	木 材 ・ 家 具	96	41	42.7
	パ ル プ ・ 紙	107	51	47.7
	化学・プラスチック	238	119	50.0
	窯 業 ・ 土 石	102	40	39.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	104	53.1
	金 属 製 品	128	60	46.9
	一 般 機 械	222	97	43.7
	電 気 機 械	333	131	39.3
	輸 送 用 機 械	250	99	39.6
	精 密 機 械	67	22	32.8
	そ の 他	167	62	37.1
	計	2,249	985	43.8
卸 売 業	生 産 財	124	53	42.7
	消 費 財	127	51	40.2
	計	251	104	41.4
合 計		2,500	1,089	43.6

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

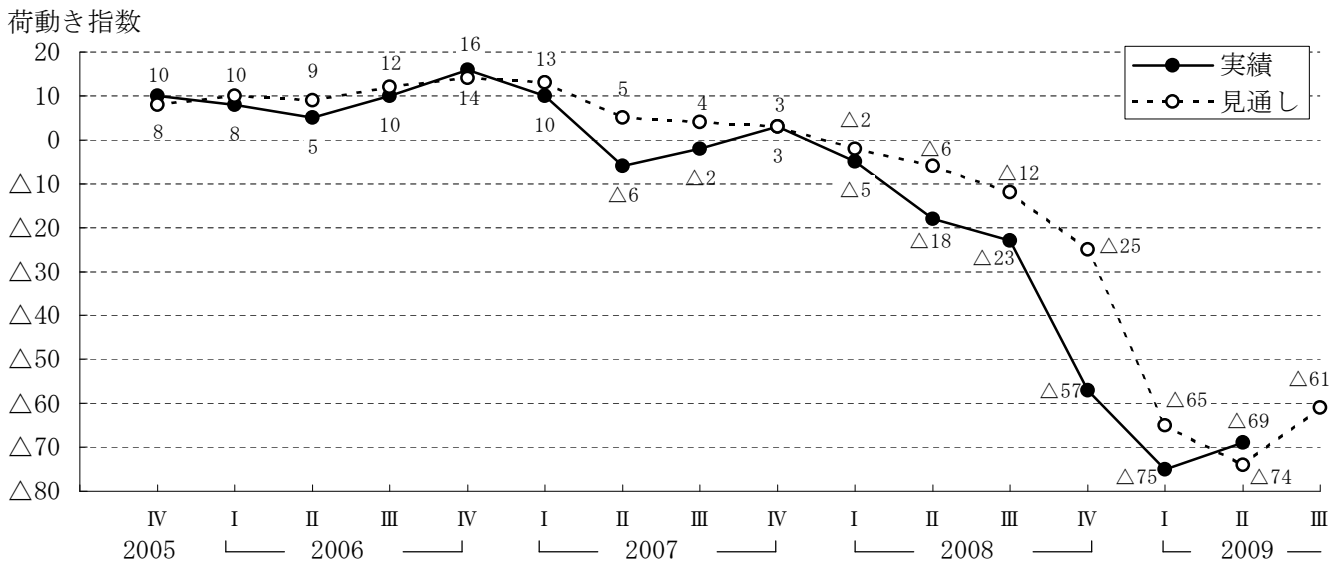
- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績より1ポイント上昇し5%となった。一方、「減少」との回答は前期より5ポイント低下し74%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は6ポイント上昇して△69となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）より1ポイント上昇し6%となり、「減少」との回答は7ポイント低下し67%になる。この結果『荷動き指数』は8ポイント上昇して△61と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



- 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2008 年下期以降『荷動き指数』は大幅な下落が続き、2009 年 1～3 月実績では△75 まで落ち込んだが、4～6 月実績（見込み）で△69、7～9 月見通しでは△61 と、上昇へ向かう動きが窺える。このため、荷動きは最悪期を脱した可能性が高いが、『荷動き指数』の上昇テンポは緩慢であり、当面早急な荷動きの回復は期待できない。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2009年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2009年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、比較的必需性の高い食料品・飲料および消費財卸を除いて△50を超える大幅なマイナスとなった。とりわけ、木材・家具、鉄鋼・非鉄、窯業・土石などでは荷動きの減退圧力が大きい。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスまで戻すほか、大半の業種でマイナス幅の縮小が期待される。しかしながら、一般機械および消費財卸では『荷動き指数』が低下し、なかでも一般機械は△81と停滞しており、依然として大幅な荷動きの減退が続くとみられる。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	104	14	48	38	△24	104	15	62	23	△8
	繊維・衣服	51	4	25	71	△67	51	4	27	69	△65
	木材・家具	41	2	2	96	△94	41	2	20	78	△76
	パルプ・紙	49	6	10	84	△78	49	4	20	76	△72
	化学・プラスチック	117	6	26	68	△62	117	5	33	62	△57
	窯業・土石	40	0	17	83	△83	40	4	18	78	△74
	鉄鋼・非鉄	101	1	13	86	△85	100	2	20	78	△76
	金属製品	56	7	18	75	△68	56	5	25	70	△65
	一般機械	96	3	14	83	△80	96	3	13	84	△81
	電気機械	127	4	13	83	△79	127	9	20	71	△62
	輸送用機械	97	6	16	78	△72	97	6	24	70	△64
	精密機械	22	9	18	73	△64	22	9	23	68	△59
	その他	61	3	13	84	△81	61	3	13	84	△81
計	962	5	19	76	△71	961	6	26	68	△62	
卸売業	生産財	52	4	29	67	△63	52	0	37	63	△63
	消費財	51	6	47	47	△41	50	4	46	50	△46
	計	103	5	38	57	△52	102	2	41	57	△55
合計	1,065	5	21	74	△69	1,063	6	27	67	△61	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域が△50を超えるマイナスを示した。とりわけ近畿、東海、関東で『荷動き指数』が△70以下の水準にとどまっており、他地域と比べて荷動きの減退圧力が大きい。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、『荷動き指数』がさらに悪化する地域はなく、四国が横ばいで推移する以外は、各地域ともマイナス幅の縮小が見込まれる。しかしながら、依然として『荷動き指数』は△47（北海道）から△75（近畿）の範囲にとどまり、各地域とも荷動きの縮小が続く見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	46	4	28	68	△ 64	46	7	39	54	△ 47
東 北	92	4	32	64	△ 60	92	4	42	54	△ 50
関 東	251	5	20	75	△ 70	251	6	27	67	△ 61
北 陸 ・ 信 越	116	6	20	74	△ 68	116	6	22	72	△ 66
東 海	145	6	14	80	△ 74	145	7	21	72	△ 65
近 畿	158	4	13	83	△ 79	157	4	17	79	△ 75
中 国	101	6	25	69	△ 63	100	7	30	63	△ 56
四 国	68	6	28	66	△ 60	68	4	32	64	△ 60
九 州 ・ 沖 縄	88	5	30	65	△ 60	88	3	36	61	△ 58
合 計	1,065	5	21	74	△ 69	1,063	6	27	67	△ 61

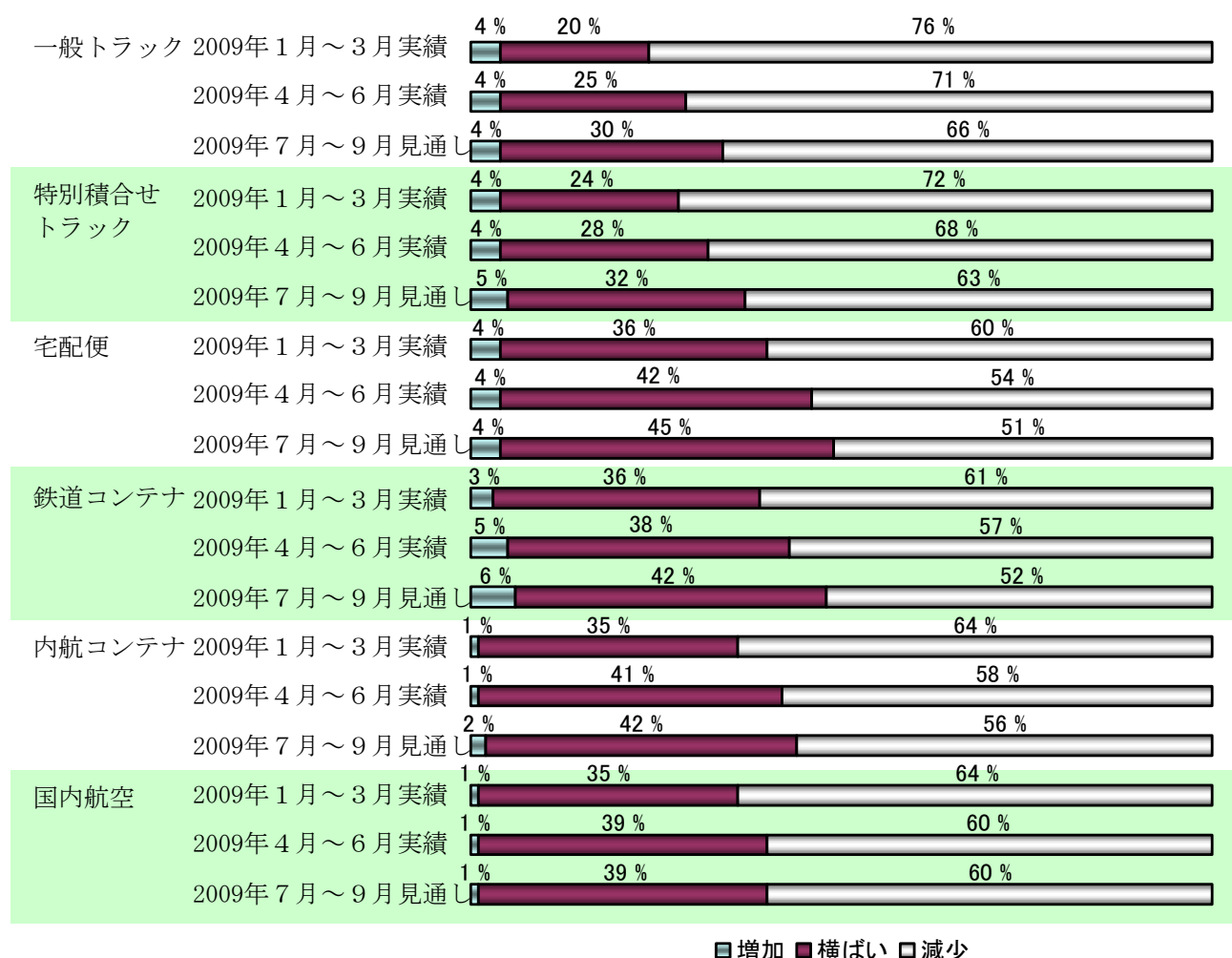


## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月の輸送機関利用の実績（見込み）をみると、すべての輸送機関で『利用動向指数』のマイナス幅が△50 もしくはそれ以上となったが、前期（1～3月）実績との比較では、各輸送機関とも小幅の改善がみられた。

■ 7～9月の見通しについては、国内航空を除いて『利用動向指数』にはさらに数ポイントの上昇が見込まれ、総じて利用の削減圧力には緩和の兆しが窺えるものの、荷動き自体は当面縮小が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



## (1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、比較的必需性の高い食料品・飲料および消費財卸を除いて△50を超える大幅なマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△67で、前期（1～3月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスまで戻すなど、全15業種中10業種でマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△62と5ポイントの改善が見込まれるものの、利用回復にはほど遠く、他の国内輸送機関と比べて一般トラックは利用の削減圧力がもっとも大きい。

### 一般トラック利用の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	101	15	51	34	△19	99	14	64	22	△8
繊維・衣服	41	2	34	64	△62	41	2	32	66	△64
木材・家具	40	0	5	95	△95	40	2	20	78	△76
パルプ・紙	51	2	16	82	△80	50	2	26	72	△70
化学・プラスチック	117	6	29	65	△59	116	5	34	61	△56
窯業・土石	38	0	16	84	△84	38	5	21	74	△69
鉄鋼・非鉄	102	1	15	84	△83	100	3	19	78	△75
金属製品	58	7	26	67	△60	56	7	30	63	△56
一般機械	87	1	20	79	△78	87	1	17	82	△81
電気機械	118	3	17	80	△77	117	6	23	71	△65
輸送用機械	95	6	17	77	△71	95	4	24	72	△68
精密機械	20	0	30	70	△70	20	0	30	70	△70
その他	59	3	15	82	△79	58	3	17	80	△77
計	927	5	23	72	△67	917	5	28	67	△62
卸売業										
生産財	47	4	28	68	△64	47	2	32	66	△64
消費財	46	7	52	41	△34	44	5	50	45	△40
計	93	5	40	55	△50	91	3	41	56	△53
合計	1,020	4	25	71	△67	1,008	4	30	66	△62

## (2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、食料品・飲料、精密機械、消費財卸を除いて△50を超えるマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△64で、前期（1～3月）実績からは4ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服など一部の業種を除いて上昇が見込まれるものの、業種全体の『利用動向指数』は△58と6ポイントの改善にとどまる。このため、特別積合せトラックは利用の減退が続く見通しである。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	66	11	53	36	△25	66	15	59	26	△11
	繊維・衣服	40	5	25	70	△65	40	2	23	75	△73
	木材・家具	27	0	7	93	△93	27	0	15	85	△85
	パルプ・紙	29	7	17	76	△69	29	3	28	69	△66
	化学・プラスチック	97	3	30	67	△64	96	4	32	64	△60
	窯業・土石	24	0	21	79	△79	24	8	21	71	△63
	鉄鋼・非鉄	67	3	22	75	△72	67	3	36	61	△58
	金属製品	43	5	21	74	△69	42	5	26	69	△64
	一般機械	67	3	24	73	△70	67	6	25	69	△63
	電気機械	97	4	20	76	△72	95	5	25	70	△65
	輸送用機械	68	5	24	71	△66	68	6	28	66	△60
	精密機械	8	0	63	37	△37	8	0	50	50	△50
	その他	45	7	22	71	△64	45	7	24	69	△62
計	678	5	26	69	△64	674	5	31	64	△59	
卸売業	生産財	36	0	36	64	△64	34	3	32	65	△62
	消費財	31	10	58	32	△22	31	6	62	32	△26
	計	67	4	46	50	△46	65	5	46	49	△44
合計	745	4	28	68	△64	739	5	32	63	△58	

### (3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△50で、前期（1～3月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸など一部の業種を除いて僅かながらマイナス幅の縮小が期待される。業種全体の『利用動向指数』は△47と3ポイントの改善が見込まれるが、利用回復へ向けての足取りは鈍く、荷動きは縮小が続く見通しである。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	74	5	72	23	△ 18	73	5	74	21	△ 16
繊維・衣服	36	8	36	56	△ 48	35	11	40	49	△ 38
木材・家具	31	0	26	74	△ 74	31	3	29	68	△ 65
パルプ・紙	27	4	37	59	△ 55	27	0	44	56	△ 56
化学・プラスチック	97	3	61	36	△ 33	96	4	62	34	△ 30
窯業・土石	25	4	44	52	△ 48	25	8	40	52	△ 44
鉄鋼・非鉄	64	0	37	63	△ 63	64	0	44	56	△ 56
金属製品	55	2	40	58	△ 56	54	1	43	56	△ 55
一般機械	88	0	25	75	△ 75	88	0	30	70	△ 70
電気機械	108	4	27	69	△ 65	107	3	35	62	△ 59
輸送用機械	72	4	39	57	△ 53	72	3	40	57	△ 54
精密機械	22	9	36	55	△ 46	22	9	36	55	△ 46
その他	45	6	36	58	△ 52	44	2	36	62	△ 60
計	744	3	41	56	△ 53	738	3	44	53	△ 50
卸売業										
生産財	45	7	51	42	△ 35	45	4	52	44	△ 40
消費財	33	9	64	27	△ 18	33	9	67	24	△ 15
計	78	8	56	36	△ 28	78	6	58	36	△ 30
合計	822	4	42	54	△ 50	816	4	45	51	△ 47

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△52で、前期（1～3月）実績からは6ポイントの上昇となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械で16ポイントの改善が見込まれるなど、多くの業種で緩やかながら『利用動向指数』は上昇しよう。業種全体では△46と6ポイントの上昇が見込まれ、減退圧力はやや緩和するものと期待されるが、荷動き自体は依然として縮小が続く見通しである。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	49	10	51	39	△ 29	49	6	67	27	△ 21
	繊維・衣服	11	0	55	45	△ 45	11	0	45	55	△ 55
	木材・家具	18	0	17	83	△ 83	18	0	28	72	△ 72
	パルプ・紙	30	7	30	63	△ 56	30	6	37	57	△ 51
	化学・プラスチック	84	6	32	62	△ 56	83	6	36	58	△ 52
	窯業・土石	15	0	27	73	△ 73	15	0	20	80	△ 80
	鉄鋼・非鉄	37	8	24	68	△ 60	36	8	31	61	△ 53
	金属製品	21	10	38	52	△ 42	20	5	40	55	△ 50
	一般機械	28	4	46	50	△ 46	28	0	54	46	△ 46
	電気機械	40	4	43	53	△ 49	37	16	35	49	△ 33
	輸送用機械	35	9	20	71	△ 62	35	11	23	66	△ 55
	精密機械	7	0	29	71	△ 71	7	0	29	71	△ 71
	その他	28	4	50	46	△ 42	28	0	54	46	△ 46
計	403	6	36	58	△ 52	397	6	40	54	△ 48	
卸 売 業	生産財	17	0	53	47	△ 47	16	0	56	44	△ 44
	消費財	14	0	71	29	△ 29	14	0	79	21	△ 21
	計	31	0	61	39	△ 39	30	0	67	33	△ 33
合 計	434	5	38	57	△ 52	427	6	42	52	△ 46	

## (5) 内航コンテナ

- 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△57で、前期（1～3月）実績からは6ポイント上昇した。
- 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械、電気機械などでマイナス幅の縮小が見込まれる一方、繊維・衣服および生産財卸では『利用動向指数』がさらに低下する。業種全体では△54と3ポイントの上昇が見込まれるが、利用回復にはほど遠く、荷動きは減退が続く見通しである。

### 内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	24	0	79	21	△ 21	24	0	88	12	△ 12
	繊維・衣服	8	0	63	37	△ 37	8	0	50	50	△ 50
	木材・家具	10	0	40	60	△ 60	10	0	40	60	△ 60
	パルプ・紙	18	5	28	67	△ 62	18	5	28	67	△ 62
	化学・プラスチック	48	2	33	65	△ 63	47	2	34	64	△ 62
	窯業・土石	13	0	15	85	△ 85	13	0	15	85	△ 85
	鉄鋼・非鉄	23	0	39	61	△ 61	23	0	39	61	△ 61
	金属製品	18	5	28	67	△ 62	18	11	22	67	△ 56
	一般機械	28	4	39	57	△ 53	28	4	39	57	△ 53
	電気機械	32	0	44	56	△ 56	31	6	42	52	△ 46
	輸送用機械	25	0	36	64	△ 64	25	0	48	52	△ 52
	精密機械	4	0	75	25	△ 25	4	0	75	25	△ 25
	その他	21	0	43	57	△ 57	21	0	43	57	△ 57
計	272	1	41	58	△ 57	270	2	42	56	△ 54	
卸 売 業	生産財	13	0	31	69	△ 69	13	0	23	77	△ 77
	消費財	8	0	63	37	△ 37	8	0	63	37	△ 37
	計	21	0	43	57	△ 57	21	0	38	62	△ 62
合計	293	1	41	58	△ 57	291	2	42	56	△ 54	

## (6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△59で、前期（1～3月）実績からは4ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具、鉄鋼・非鉄などではマイナス幅の縮小が見込まれる一方、パルプ・紙、食料品・飲料などでは『利用動向指数』がさらに低下するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体では横ばいで推移するとみられる。このため、荷動きは減退が続く見通しである。

### 国内航空利用の実績と見通し

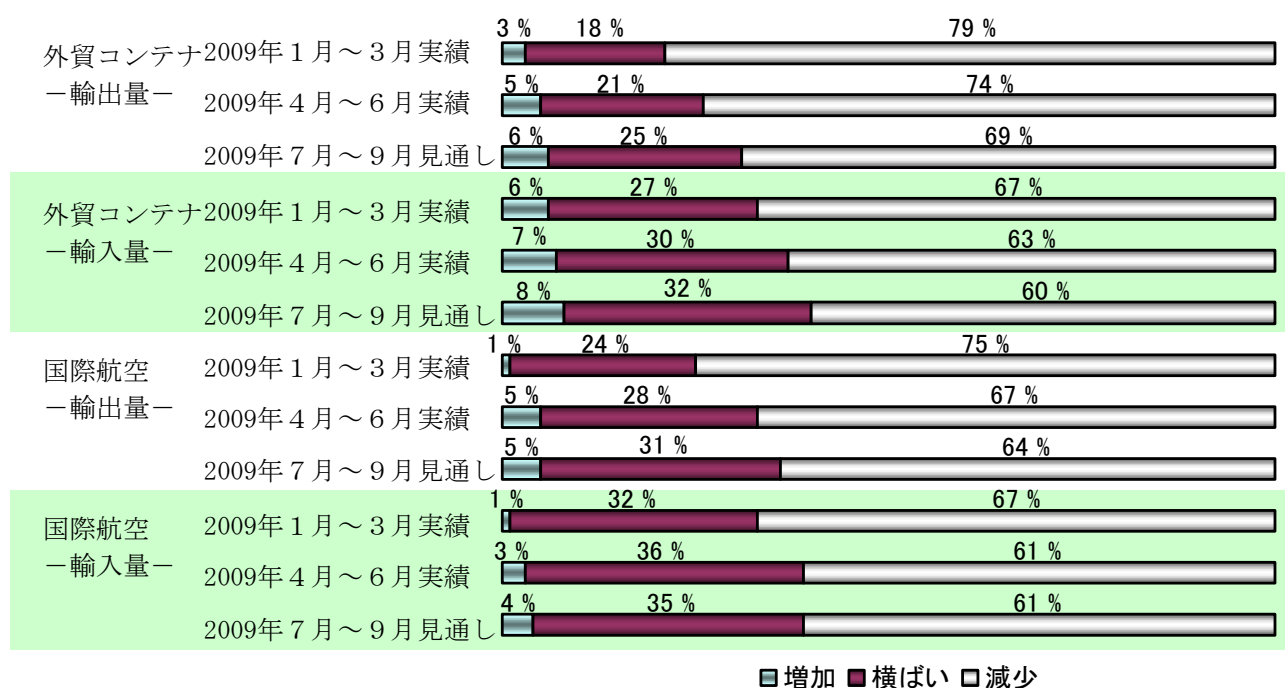
業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	23	0	83	17	△ 17	23	0	78	22	△ 22
繊維・衣服	11	0	27	73	△ 73	11	0	27	73	△ 73
木材・家具	9	0	22	78	△ 78	9	0	33	67	△ 67
パルプ・紙	7	14	29	57	△ 43	7	0	29	71	△ 71
化学・プラスチック	32	3	44	53	△ 50	31	3	42	55	△ 52
窯業・土石	13	0	15	85	△ 85	13	0	15	85	△ 85
鉄鋼・非鉄	25	0	36	64	△ 64	25	4	36	60	△ 56
金属製品	18	0	28	72	△ 72	18	6	22	72	△ 66
一般機械	45	0	29	71	△ 71	45	0	31	69	△ 69
電気機械	68	0	29	71	△ 71	67	1	31	68	△ 67
輸送用機械	29	3	56	41	△ 38	29	3	56	41	△ 38
精密機械	11	0	55	45	△ 45	11	0	55	45	△ 45
その他	23	0	39	61	△ 61	22	0	41	59	△ 59
計	314	1	38	61	△ 60	311	1	39	60	△ 59
卸売業										
生産財	12	0	33	67	△ 67	12	0	33	67	△ 67
消費財	13	0	54	46	△ 46	13	0	54	46	△ 46
計	25	0	44	56	△ 56	25	0	44	56	△ 56
合計	339	1	39	60	△ 59	336	1	39	60	△ 59

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナ、国際航空の輸出入とも△50 を超える大幅なマイナスを示した。前期（1～3 月）実績との比較では、いずれの機関においても『荷動き指数』のマイナス幅は縮小し、とくに国際航空の輸出では 12 ポイントの上昇となった。

■ 7～9 月の『荷動き指数』見通しについては、総じて上昇の動きが窺えるものの、引き続き△50 超のマイナス水準にとどまろう。このため、外貿コンテナ、国際航空の輸出入ともに、荷動きの減退が続く見通しである。

輸出入貨物量の実績と見通し





(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種がマイナスを示し、消費財卸および精密機械を除いて、△50かそれ以上のマイナス幅となった。業種全体の『荷動き指数』は△69で、前期（1～3月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、過半数の業種でマイナス幅が縮小するものの、改善の動きは鈍く、業種全体の『荷動き指数』は△63と6ポイントの上昇にとどまろう。このため、外貿コンテナ輸出は、国際・国内の全輸送機関のなかでもっとも減退圧力が大きい。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	16	6	38	56	△ 50	16	6	44	50	△ 44
	繊維・衣服	11	0	36	64	△ 64	11	0	36	64	△ 64
	木材・家具	4	0	0	100	△ 100	4	0	0	100	△ 100
	パルプ・紙	16	6	13	81	△ 75	16	0	25	75	△ 75
	化学・プラスチック	58	10	19	71	△ 61	56	9	30	61	△ 52
	窯業・土石	18	0	6	94	△ 94	18	11	6	83	△ 72
	鉄鋼・非鉄	43	5	21	74	△ 69	43	4	19	77	△ 73
	金属製品	18	0	28	72	△ 72	18	5	28	67	△ 62
	一般機械	62	5	21	74	△ 69	62	3	21	76	△ 73
	電気機械	59	5	22	73	△ 68	59	7	29	64	△ 57
	輸送用機械	48	2	19	79	△ 77	48	4	23	73	△ 69
精密機械	16	13	31	56	△ 43	16	13	31	56	△ 43	
その他	28	7	14	79	△ 72	28	7	25	68	△ 61	
計	397	5	21	74	△ 69	395	6	25	69	△ 63	
卸売業	生産財	9	0	22	78	△ 78	9	0	33	67	△ 67
	消費財	8	12	38	50	△ 38	8	12	38	50	△ 38
	計	17	6	29	65	△ 59	17	6	35	59	△ 53
合計	414	5	21	74	△ 69	412	6	25	69	△ 63	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、全15業種中10業種においてマイナス幅が△50もしくはそれ以上となった。業種全体の『荷動き指数』は△56で、前期（1～3月）実績からは5ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙、精密機械などでマイナス幅が縮小し、業種全体の『荷動き指数』は4ポイント上昇して△52と見込まれる。このため、荷動きの減退圧力は緩和の兆しが窺えるが、その動きは緩慢で、当面は大幅な荷動きの減退が続くとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	19	21	47	32	△11	19	21	47	32	△11	
繊維・衣服	14	0	50	50	△50	14	7	43	50	△43	
木材・家具	10	20	20	60	△40	10	20	20	60	△40	
パルプ・紙	8	12	38	50	△38	7	29	29	42	△13	
化学・プラスチック	55	4	36	60	△56	54	6	44	50	△44	
窯業・土石	14	0	21	79	△79	14	0	21	79	△79	
鉄鋼・非鉄	27	4	26	70	△66	27	4	26	70	△66	
金属製品	19	10	32	58	△48	19	10	37	53	△43	
一般機械	58	3	26	71	△68	58	5	26	69	△64	
電気機械	62	8	24	68	△60	62	11	24	65	△54	
輸送用機械	43	7	28	65	△58	43	9	23	68	△59	
精密機械	14	0	36	64	△64	14	7	36	57	△50	
その他	28	7	21	72	△65	28	4	25	71	△67	
計	371	6	30	64	△58	369	8	30	62	△54	
卸売業	生産財	12	0	33	67	△67	13	0	38	62	△62
	消費財	15	13	47	40	△27	15	13	60	27	△14
	計	27	7	41	52	△45	28	7	50	43	△36
合計	398	7	30	63	△56	397	8	32	60	△52	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種がマイナスを示し、食料品・飲料、消費財卸、精密機械を除いて△50を超えるマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△62で、前期（1～3月）実績からは12ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料および回答社数の少ないパルプ・紙がゼロ水準まで回復するなど一部で改善の動きが窺えるが、業種全体の『荷動き指数』は△59と3ポイントの上昇にとどまろう。この結果、国際航空の輸出は、依然として荷動きの減退が続く見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	7	0	86	14	△14	7	14	72	14	0
	繊維・衣服	8	0	37	63	△63	8	0	37	63	△63
	木材・家具	4	0	0	100	△100	4	0	0	100	△100
	パルプ・紙	1	0	0	100	△100	1	0	100	0	0
	化学・プラスチック	31	3	39	58	△55	31	6	39	55	△49
	窯業・土石	9	0	11	89	△89	9	0	11	89	△89
	鉄鋼・非鉄	22	0	36	64	△64	22	4	32	64	△60
	金属製品	15	0	40	60	△60	15	0	53	47	△47
	一般機械	63	6	17	77	△71	63	3	22	75	△72
	電気機械	71	7	23	70	△63	69	6	26	68	△62
	輸送用機械	30	0	37	63	△63	30	0	33	67	△67
	精密機械	15	20	13	67	△47	15	20	20	60	△40
その他	20	0	30	70	△70	20	5	30	65	△60	
計	296	4	28	68	△64	294	5	30	65	△60	
卸売業	生産財	9	11	22	67	△56	9	11	22	67	△56
	消費財	9	11	56	33	△22	9	0	67	33	△33
	計	18	11	39	50	△39	18	6	44	50	△44
合計	314	5	28	67	△62	312	5	31	64	△59	

(4) 国際航空 - 輸入 -

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、回答社数の少ないパルプ・紙を除いて、すべての業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△58で、前期(1～3月)実績からは8ポイントの上昇となった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、引き続きパルプ・紙を除くすべての業種がマイナスで、精密機械、鉄鋼・非鉄、金属製品でマイナス幅の小幅な縮小が見込まれる以外は、総じて大きな変化はみられない。この結果、業種全体の『荷動き指数』は強含み横ばいで推移し、荷動きの減退が続く見通しである。

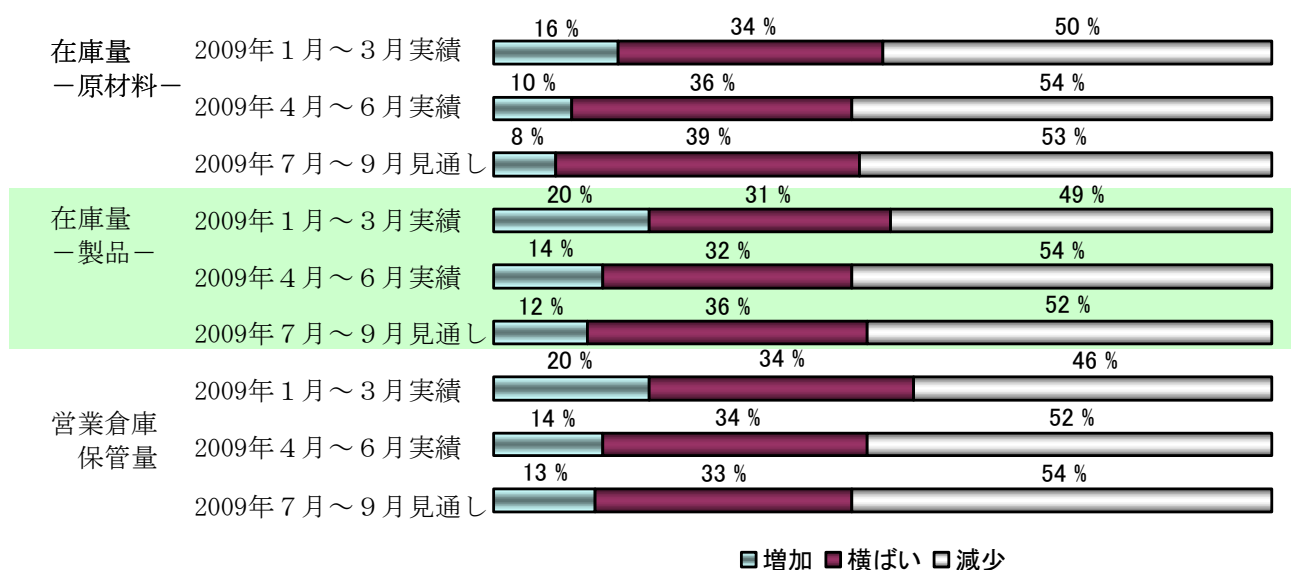
国際航空による輸入量の実績と見通し

業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	9	0	89	11	△ 11	9	0	89	11	△ 11
繊維・衣服	8	0	25	75	△ 75	8	0	25	75	△ 75
木材・家具	4	0	25	75	△ 75	4	0	25	75	△ 75
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	27	4	44	52	△ 48	26	4	42	54	△ 50
窯業・土石	4	0	0	100	△ 100	4	0	0	100	△ 100
鉄鋼・非鉄	20	0	40	60	△ 60	20	5	40	55	△ 50
金属製品	13	0	62	38	△ 38	13	8	54	38	△ 30
一般機械	50	0	28	72	△ 72	50	0	28	72	△ 72
電気機械	60	5	33	62	△ 57	59	5	32	63	△ 58
輸送用機械	32	3	31	66	△ 63	32	3	31	66	△ 63
精密機械	16	19	25	56	△ 37	16	25	25	50	△ 25
その他	22	0	27	73	△ 73	22	0	27	73	△ 73
計	266	3	35	62	△ 59	264	4	34	62	△ 58
卸売業										
生産財	9	0	33	67	△ 67	9	0	33	67	△ 67
消費財	9	0	67	33	△ 33	9	0	67	33	△ 33
計	18	0	50	50	△ 50	18	0	50	50	△ 50
合計	284	3	36	61	△ 58	282	4	35	61	△ 57

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

- 4～6月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』は△40前後の大幅なマイナスを示した。前期（1～3月）実績との比較では、いずれも10ポイント以上マイナス幅が拡大した。
- 7～9月の見通しでは、原材料在庫および製品在庫の『動向指数』は概ね横ばい、営業倉庫利用については3ポイントの下降が見込まれる。このため、在庫量、営業倉庫利用とも当面低調に推移するとみられ、回復に向けての動きは窺えない。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、すべての業種がマイナスで、消費財卸および食料品・飲料が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△44で、前期（1～3月）実績からは10ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、消費財卸および食料品・飲料も2ケタのマイナスに落ち込むなど、総じて好転の兆しは窺えない。業種全体の『在庫動向指数』は弱含み横ばいで推移し、原材料在庫の圧縮が続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	86	10	71	19	△ 9	85	9	71	20	△ 11
繊維・衣服	41	14	37	49	△ 35	41	12	39	49	△ 37
木材・家具	36	8	31	61	△ 53	36	3	25	72	△ 69
パルプ・紙	44	18	41	41	△ 23	44	7	57	36	△ 29
化学・プラスチック	109	13	40	47	△ 34	109	12	42	46	△ 34
窯業・土石	31	13	42	45	△ 32	31	9	39	52	△ 43
鉄鋼・非鉄	93	9	26	65	△ 56	93	6	33	61	△ 55
金属製品	54	5	39	56	△ 51	54	4	46	50	△ 46
一般機械	86	9	28	63	△ 54	86	8	20	72	△ 64
電気機械	100	8	17	75	△ 67	99	8	21	71	△ 63
輸送用機械	86	9	27	64	△ 55	86	5	33	62	△ 57
精密機械	19	21	32	47	△ 26	19	15	32	53	△ 38
その他	53	6	30	64	△ 58	53	4	34	62	△ 58
計	838	10	35	55	△ 45	836	7	38	55	△ 48
卸売業										
生産財	24	8	50	42	△ 34	24	8	59	33	△ 25
消費財	22	23	50	27	△ 4	22	13	64	23	△ 10
計	46	15	50	35	△ 20	46	11	61	28	△ 17
合計	884	10	36	54	△ 44	882	8	39	53	△ 45

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績(見込み)の『在庫動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、繊維・衣服を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△40で、前期(1～3月)実績からは11ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、繊維・衣服も2ケタのマイナスに沈む一方、精密機械や電気機械などではマイナス幅の縮小が見込まれるなど、業種により明暗がみられるが、業種全体の『在庫動向指数』は横ばいで推移するとみられる。このため、製品在庫は依然として圧縮が進む見通しである。

在庫量(製品)の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	88	10	66	24	△14	87	10	65	25	△15
繊維・衣服	45	33	29	38	△5	44	22	39	39	△17
木材・家具	36	17	17	66	△49	36	8	28	64	△56
パルプ・紙	46	22	22	56	△34	46	9	43	48	△39
化学・プラスチック	114	18	35	47	△29	114	15	39	46	△31
窯業・土石	37	16	22	62	△46	37	14	24	62	△48
鉄鋼・非鉄	91	21	15	64	△43	90	11	30	59	△48
金属製品	55	11	27	62	△51	55	13	27	60	△47
一般機械	90	18	21	61	△43	90	16	16	68	△52
電気機械	110	4	23	73	△69	109	9	22	69	△60
輸送用機械	90	8	34	58	△50	90	7	36	57	△50
精密機械	20	15	25	60	△45	20	15	35	50	△35
その他	55	13	38	49	△36	55	11	38	51	△40
計	877	15	30	55	△40	873	12	34	54	△42
卸売業										
生産財	46	11	43	46	△35	46	9	48	43	△34
消費財	42	19	48	33	△14	42	14	57	29	△15
計	88	15	45	40	△25	88	11	53	36	△25
合計	965	14	32	54	△40	961	12	36	52	△40

### (3) 営業倉庫保管量

- 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、すべての業種がマイナスで、食料品・飲料が唯一1ケタのマイナスにとどまる以外は、2ケタのマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△38で、前期（1～3月）実績からは12ポイント低下した。
- 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、過半数の業種でマイナス幅が拡大し、業種全体の『保管動向指数』は△41と、さらに3ポイントの低下が見込まれる。このため、営業倉庫保管量は圧縮圧力が強まる見通しである。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	72	15	61	24	△9	72	18	56	26	△8
繊維・衣服	27	22	37	41	△19	27	22	37	41	△19
木材・家具	30	7	20	73	△66	30	3	27	70	△67
パルプ・紙	39	20	26	54	△34	39	13	33	54	△41
化学・プラスチック	91	14	44	42	△28	91	15	38	47	△32
窯業・土石	24	17	33	50	△33	24	17	29	54	△37
鉄鋼・非鉄	60	8	27	65	△57	60	6	32	62	△56
金属製品	35	17	37	46	△29	35	20	31	49	△29
一般機械	65	20	22	58	△38	64	19	15	66	△47
電気機械	74	8	23	69	△61	74	9	23	68	△59
輸送用機械	53	6	26	68	△62	53	7	23	70	△63
精密機械	15	27	27	46	△19	15	13	33	54	△41
その他	43	14	33	53	△39	43	12	30	58	△46
計	628	14	33	53	△39	627	13	32	55	△42
卸売業										
生産財	34	18	35	47	△29	34	12	41	47	△35
消費財	31	22	39	39	△17	31	13	45	42	△29
計	65	20	37	43	△23	65	12	43	45	△33
合計	693	14	34	52	△38	692	13	33	54	△41

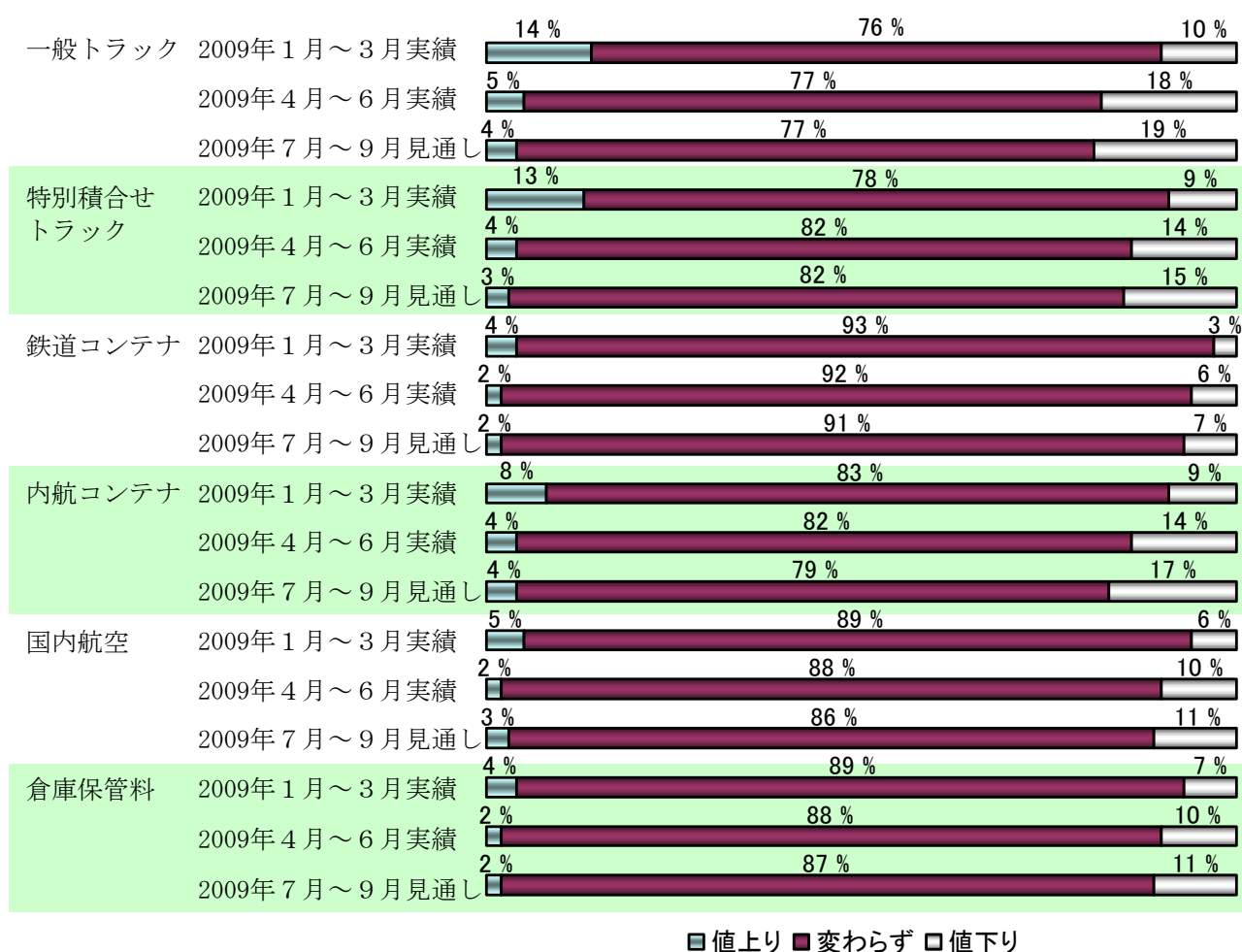


## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、全機関がマイナスを示し、一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナでは2ケタのマイナスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、全機関で『動向指数』が低下した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、国内航空が横ばいで推移するが、それ以外の機関では、『動向指数』は総じて小幅ながらさらに低下する見込みで、運賃水準は下降が続くとみられる。

運賃・料金の実績と見通し



## (1) 一般トラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服および消費財卸の2業種がプラスで、残りすべての業種がマイナスを示し、食料品・飲料および生産財卸を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△13で、前期(1～3月)実績より17ポイントの大幅な下落となった。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに反転し、繊維・衣服もゼロ水準まで低下して、プラスの業種は皆無となる。業種全体の『運賃動向指数』は△15と小幅ながらさらに低下する見込みで、この結果、一般トラックでは他の機関と比べてもっとも運賃水準の引下げ圧力が大きい。

### 一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	101	3	86	11	△ 8	100	2	87	11	△ 9
	繊維・衣服	40	8	90	2	6	40	5	90	5	0
	木材・家具	38	2	66	32	△ 30	38	2	66	32	△ 30
	パルプ・紙	50	4	78	18	△ 14	50	2	76	22	△ 20
	化学・プラスチック	117	8	67	25	△ 17	117	6	69	25	△ 19
	窯業・土石	38	0	79	21	△ 21	38	0	66	34	△ 34
	鉄鋼・非鉄	100	9	65	26	△ 17	98	9	64	27	△ 18
	金属製品	58	0	84	16	△ 16	58	0	86	14	△ 14
	一般機械	87	3	84	13	△ 10	87	3	79	18	△ 15
	電気機械	115	3	82	15	△ 12	115	3	80	17	△ 14
	輸送用機械	88	7	76	17	△ 10	88	7	78	15	△ 8
	精密機械	20	5	65	30	△ 25	20	0	70	30	△ 30
その他	57	5	70	25	△ 20	57	5	72	23	△ 18	
計	909	5	77	18	△ 13	906	4	76	20	△ 16	
卸売業	生産財	45	4	85	11	△ 7	45	4	83	13	△ 9
	消費財	45	11	80	9	2	44	5	86	9	△ 4
	計	90	8	82	10	△ 2	89	4	85	11	△ 7
合計	999	5	77	18	△ 13	995	4	77	19	△ 15	

## (2) 特別積合せトラック運賃

- 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、消費財卸が唯一プラスを示す以外は残りすべての業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△10で、前期（1～3月）実績からは14ポイントの低下がみられた。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸もマイナスに反転し、すべての業種がマイナスを示す。業種全体の『運賃動向指数』は△12と、小幅ながらさらに低下する見通しで、運賃水準は下落が続くとみられる。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	66	3	92	5	△2	66	2	92	6	△4
	繊維・衣服	40	2	93	5	△3	40	0	90	10	△10
	木材・家具	26	0	81	19	△19	26	0	81	19	△19
	パルプ・紙	28	3	68	29	△26	28	0	71	29	△29
	化学・プラスチック	97	10	71	19	△9	97	7	73	20	△13
	窯業・土石	25	8	76	16	△8	25	8	68	24	△16
	鉄鋼・非鉄	64	5	75	20	△15	63	5	71	24	△19
	金属製品	43	2	79	19	△17	43	2	79	19	△17
	一般機械	65	3	91	6	△3	65	3	88	9	△6
	電気機械	97	1	87	12	△11	96	1	85	14	△13
	輸送用機械	67	6	81	13	△7	67	4	83	13	△9
	精密機械	9	0	89	11	△11	9	0	78	22	△22
	その他	47	4	79	17	△13	47	4	79	17	△13
計	674	4	82	14	△10	672	3	81	16	△13	
卸 売 業	生産財	34	6	85	9	△3	34	6	82	12	△6
	消費財	29	10	83	7	3	29	0	93	7	△7
	計	63	8	84	8	0	63	3	87	10	△7
合計	737	4	82	14	△10	735	3	82	15	△12	

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、輸送用機械が唯一プラス、木材・家具など5業種がゼロ水準で、残り9業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△4で、前期（1～3月）実績より5ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械など3業種がゼロ水準から水面下に沈み、製造業は輸送用機械を除くすべての業種がマイナスを示す。業種全体の『運賃動向指数』は弱含み横ばいで推移し、運賃水準は下降が続く見通しである。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	50	0	96	4	△4	50	0	98	2	△2
	繊維・衣服	10	0	90	10	△10	9	0	89	11	△11
	木材・家具	17	6	88	6	0	17	6	82	12	△6
	パルプ・紙	29	3	90	7	△4	29	3	90	7	△4
	化学・プラスチック	80	3	91	6	△3	80	1	93	6	△5
	窯業・土石	15	7	86	7	0	15	7	80	13	△6
	鉄鋼・非鉄	34	0	94	6	△6	34	0	94	6	△6
	金属製品	21	0	95	5	△5	21	0	95	5	△5
	一般機械	28	4	92	4	0	28	0	93	7	△7
	電気機械	38	0	92	8	△8	37	3	86	11	△8
	輸送用機械	29	17	76	7	10	29	17	76	7	10
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他	27	0	93	7	△7	27	0	93	7	△7
計	385	3	91	6	△3	383	3	90	7	△4	
卸売業	生産財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	消費財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	計	27	0	100	0	0	27	0	100	0	0
合計	412	2	92	6	△4	410	2	91	7	△5	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスの業種は皆無で、化学・プラスチック、輸送用機械、消費財卸がゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△10で、前期（1～3月）実績より9ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび輸送用機械がプラスに浮上するものの、パルプ・紙、窯業・土石などではマイナス幅が拡大し、業種全体の『運賃動向指数』は△13とさらに3ポイントの低下が見込まれる。このため、運賃水準の引下げ圧力が強まるとみられる。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	23	4	87	9	△5	23	4	79	17	△13
	繊維・衣服	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	木材・家具	9	0	67	33	△33	9	0	67	33	△33
	パルプ・紙	15	7	73	20	△13	15	0	60	40	△40
	化学・プラスチック	46	4	92	4	0	46	7	91	2	5
	窯業・土石	12	0	83	17	△17	12	0	67	33	△33
	鉄鋼・非鉄	22	5	68	27	△22	22	5	68	27	△22
	金属製品	16	0	88	12	△12	16	0	88	12	△12
	一般機械	25	4	80	16	△12	25	0	80	20	△20
	電気機械	32	0	91	9	△9	32	0	88	12	△12
	輸送用機械	22	14	72	14	0	22	14	77	9	5
	精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
その他	23	0	83	17	△17	23	4	74	22	△18	
計	253	4	82	14	△10	253	4	79	17	△13	
卸売業	生産財	13	8	77	15	△7	13	8	77	15	△7
	消費財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	計	20	5	85	10	△5	20	5	85	10	△5
合計	273	4	82	14	△10	273	4	79	17	△13	

## (5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料など6業種がゼロ水準にとどまる以外は、残り9業種がマイナスを示す。業種全体の『運賃動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績より7ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙および消費財卸がゼロ水準からマイナスに落ち込む一方、金属製品および電気機械ではマイナス幅の縮小が見込まれるなど、業種により明暗がみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準は下降が続く見通しである。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
	繊維・衣服	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	木材・家具	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0
	パルプ・紙	7	0	100	0	0	6	0	83	17	△17
	化学・プラスチック	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
	窯業・土石	12	8	75	17	△9	12	0	83	17	△17
	鉄鋼・非鉄	24	0	79	21	△21	24	0	75	25	△25
	金属製品	18	0	89	11	△11	18	0	94	6	△6
	一般機械	47	2	89	9	△7	46	2	85	13	△11
	電気機械	65	2	89	9	△7	65	5	86	9	△4
	輸送用機械	27	4	85	11	△7	27	4	81	15	△11
	精密機械	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
その他	21	10	76	14	△4	21	10	76	14	△4	
計	299	2	88	10	△8	297	3	86	11	△8	
卸売業	生産財	13	8	84	8	0	13	8	84	8	0
	消費財	12	8	84	8	0	12	0	92	8	△8
	計	25	8	84	8	0	25	4	88	8	△4
合計	324	2	88	10	△8	322	3	86	11	△8	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6月実績（見込み）の『料金動向指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料、輸送用機械、消費財卸の3業種がゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスを示す。業種全体の『料金動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績より5ポイント低下した。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、パルプ・紙および鉄鋼・非鉄がゼロ水準まで戻すものの、食料品・飲料および輸送用機械がマイナスに沈むなど、業種によりバラツキはみられるが、業種全体の『料金動向指数』は弱含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、料金水準の低下が続く見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	59	3	94	3	0	60	5	88	7	△2
繊維・衣服	21	0	95	5	△5	21	0	95	5	△5
木材・家具	18	0	83	17	△17	18	0	78	22	△22
パルプ・紙	32	3	91	6	△3	32	6	88	6	0
化学・プラスチック	86	1	91	8	△7	86	0	91	9	△9
窯業・土石	20	0	80	20	△20	20	0	80	20	△20
鉄鋼・非鉄	48	2	94	4	△2	48	2	96	2	0
金属製品	25	4	88	8	△4	25	0	92	8	△8
一般機械	59	3	85	12	△9	59	2	81	17	△15
電気機械	69	0	84	16	△16	69	0	86	14	△14
輸送用機械	44	7	86	7	0	44	7	84	9	△2
精密機械	14	0	79	21	△21	14	0	79	21	△21
その他	38	0	82	18	△18	38	0	79	21	△21
計	533	2	88	10	△8	534	2	87	11	△9
卸売業										
生産財	28	4	82	14	△10	28	3	79	18	△15
消費財	23	4	92	4	0	23	4	92	4	0
計	51	4	86	10	△6	51	4	84	12	△8
合計	584	2	88	10	△8	585	2	87	11	△9

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、木材・家具、化学・プラスチックなど7業種がプラス、輸送用機械、窯業・土石など8業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは5ポイントの低下となった。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに反転する一方、パルプ・紙が水面下に沈むなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『動向指数』は弱含み横ばいで推移しよう。この結果、物流コスト割合は概ね現状維持の見通しである。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2009年4月～6月実績					2009年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	106	16	70	14	2	106	16	71	13	3
	繊 維 ・ 衣 服	47	26	51	23	3	47	26	55	19	7
	木 材 ・ 家 具	38	37	42	21	16	38	39	37	24	15
	パ ル プ ・ 紙	50	26	50	24	2	50	24	50	26	△ 2
	化学・プラスチック	117	29	55	16	13	117	28	55	17	11
	窯 業 ・ 土 石	39	33	23	44	△ 11	39	33	26	41	△ 8
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	102	28	47	25	3	101	26	50	24	2
	金 属 製 品	58	26	40	34	△ 8	58	24	40	36	△ 12
	一 般 機 械	94	21	56	23	△ 2	94	24	49	27	△ 3
	電 気 機 械	125	33	42	25	8	125	31	45	24	7
	輸 送 用 機 械	91	20	40	40	△ 20	91	16	44	40	△ 24
	精 密 機 械	21	19	57	24	△ 5	22	14	59	27	△ 13
そ の 他	59	29	39	32	△ 3	59	25	43	32	△ 7	
計	947	26	48	26	0	947	25	49	26	△ 1	
卸 売 業	生 産 財	51	22	49	29	△ 7	51	20	51	29	△ 9
	消 費 財	49	16	64	20	△ 4	49	18	66	16	2
	計	100	19	56	25	△ 6	100	19	58	23	△ 4
合 計	1,047	26	48	26	0	1,047	24	51	25	△ 1	